

沿革	昭和47年5月5日	開校(小学生21名、中学生7名)
	昭和47年	草ヶ江ヤングラガーズと交流開始
	昭和49年	湯布院「九州地区ラグビー少年交歓会」参加
	昭和51年	自衛隊グラウンド使用許可を得る
	平成12年	特定非営利活動法人を取得

歴代校長	①八田千之	昭和47年5月～昭和54年3月
	②太田美則	昭和54年4月～昭和58年3月
	③絹原昭三	昭和58年4月～昭和61年3月
	④金森秀雄	昭和61年4月～昭和63年3月
	⑤村田 亨	昭和63年4月～平成18年3月
	⑥北川尚幸	平成18年4月～平成25年3月
	⑦金森大次郎	平成25年4月～現在

46年秋頃、当時県ラグビー協会福会長八田千之氏の提案をきっかけに、ラグビーを通じて健全な少年育成を目的としてスクールを作ろうと、八田千之、前川隆、太田美則、村田亨、岡村昭弘、豊田慶丸、金森秀雄の各ラグビー関係諸氏の努力により、昭和47年5月5日熊本商大グラウンドに於いて開校しました。当日の入校者数中学生7名、小学生21名、計28名で、うち12名はラグビー経験者の子弟でした。

当初の練習会場は錦ヶ丘中学校運動場でした。小学校3年生以上だったスクール生も幼稚園児にまで広がり、昭和52年には100名を越えました。そのため練習場が手狭となり昭和51年県ラグビー協会を通じ、現在使用の自衛隊東ラグビー場の貸与を受けることになりました。自衛隊の協力で訓練施設をラグビー場として整備していただき、昭和53年5月健軍駐屯地業務隊長の使用許可が正式に許可されました。以後歴代業務隊長に引きつがれ、ラグビー場の整備、手入れを条件に、熊本ラグビースクールだけが使用許可を得ています。保護者協力で整備手入れを続け、使用させていただいています。

対外試合については、昭和47年には草ヶ江ヤングラガーズ1校と交歓試合したのみでしたが、昭和49年より、湯布院青少年スポーツセンターで「九州地区ラグビー少年交歓会」が始まり、子供達のよい目標となり、又、楽しみとなっています。湯布院の他に各地ラグビースクールと交代で、遠征、受入れを行って、日帰りの交歓会をしています。

そのほかに、年中行事として、初夏の合宿、年末の納会を実施しています。スクールはラグビーを通じて協調性、社会性、責任感を養い、子供達の健康の増進と体力の向上をはかり楽しく明るい生活を営む態度を育てることを目標としております。昭和48年3月第1回卒業生を出して以来、市内各高校ラグビー部において、スクール出身者が元気に活躍していることは、上記の目標をめざして励んで参りました関係者一同の非常な喜びとするところです。